

令和2年度シラバス

理学療法士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
脳血管障害理学療法学		講義	沖山 努	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
<p>脳血管障害における臨床症状の特徴を総括し、問題点の分析並びに理学療法プログラム立案プロセスを身につける。 特に、二次障害の重要性についても認識し、治療方針については、急性期、回復期、慢性期に分けてそれぞれの理学療法における留意点を理解する。また、授業の後半では、各期に応じた実技を習得する。</p>				
授業の到達目標				
<p>知識領域；脳血管障害における症状を理解する。態度領域；脳血管障害の多様性に興味を持つ。技術領域；関節可動域運動や移乗動作といった基本的理学療法を各期に応じて行える。</p>				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 脳血管障害の病的分類 脳血管障害の自然経過			
2	一次障害（共同運動、連合反応、痙性等の筋緊張異常等）の理解			
3	二次障害（廃用症候群、誤用症候、過用症候）と転倒や精神機能低下についての理解			
4	脳血管障害で生じるその他の症状についての理解			
5	脳血管障害の評価（問題点の抽出、予後予測等）			
6	脳血管障害の評価（プログラムの立て方等）			
7	急性期の理学療法と障害受容			
8	回復期の理学療法			
9	維持期（生活期）の理学療法			
10	高次脳機能障害（失行、失認、失語について）			
11	家屋改造を含めた退院支援について			
12	急性期の理学療法（実技1）ポジショニングと関節可動域運動			
13	回復期の理学療法（実技2）背臥位から座位まで			
14	回復期の理学療法（実技3）座位から歩行まで（応用歩行、ADL練習含む）			
15	維持期（生活期）の理学療法（実技4）介助方法の指導、自主練習の指導			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他	30%	実技試験		
自由記載	再試験の合格ラインは70点とする			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
目でみる脳卒中リハビリテーション 1版	上田 敏		東京大学出版会	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				